

激な変化に対応できる活力ある産業の育成をめざします。

第4節 みんなで育てる圏域づくり（協働*）

圏域住民が協力して人づくりを進めるとともに、行政と住民が協働*しながら特色ある自立した圏域をめざします。

1 心豊かな人づくり

21 世紀の圏域づくりを進めていくための基礎は「人づくり」であり、いじめ、不登校など子どもをめぐる心の問題が急増する中で、家庭、学校、地域社会が密接に連携し、豊かな人間性や創造力あふれる人材の育成に努めていきます。

また、人生 80 年社会を迎え高齢者の増加や自由時間の増大により、ゆとりや生きがいのある充実した生活への期待が高まっています。

そこで、年齢・性別を問わず生涯を通じて芸術やスポーツなど多様な文化活動へ自発的に参加できる生涯学習社会の形成に向け、環境整備に取り組んでいきます。

さらに、高度な技術・知識を習得する場として、大学等の高等教育機関での公開講座の開設や大学等の圏域内への移転や立地の支援に努めていくとともに、住民一人ひとりがゆとりを実感できる圏域の醸成をめざします。

2 住民との協働*によるまちづくり

地方分権や規制緩和が進み、地方自治は、地域住民が主役です。そこでは、一人ひとりが、夢を描き、共通の目標を持ち、また、情報を共有してそれぞれに期待される役割分担に応じて互いに協調しながら、主体的にまちづくりに取り組むことが必要です。

こうしたまちづくりを進めていくために、構成市が自ら情報を積極的に開示し、住民自らの選択と自己責任により行動できる環境づくりを進めます。

また、近年の少子・高齢化の進行、情報化や国際化の進展、経済構造の変化などによって、個人の価値観も多様化し、これまで保たれてきた地域社会における住民相互の連帯感や共同意識感覚が薄れ、地域社会を営む基盤が失われつつあります。こうした状況の中、コミュニティ活動の育成と活性化に向けた支援に努めます。

さらに、今後国際化が一層進展する中で、地球規模で考え地域で行動する知見を持ち、文化活動や経済活動において、異文化との交流や融合を通じて、より高い次元の文化や高付加価値製品を生み出すことができるよう、様々な交流活動を展開します。